

みやぎ観光回復戦略に掲げた取組の進捗状況について（大崎圏域）

資料3 - 1

第4章 県内各圏域の施策の方向性 （大崎圏域）回復戦略P19	進捗状況	備考
（1）宿泊施設が「安心」と認識されることへの対策		
○安心ステッカー貼付店舗・施設への確認や指導【短期】	旅行者が旅行を安心して楽しめる環境の整備を図るため、宿泊事業者が感染症対策に資する衛生資材の購入経費に対し支援を行った。また、みやぎ宿泊割キャンペーン実施の際に、旅行者がチェックイン時に記入するチェックインシートに、手指消毒の励行など新しい旅のエチケット遵守の呼びかけを行うなど、感染予防対策への取組を啓発した。今後も各種キャンペーンの際には、圏域内の宿泊施設が安全・安心であることをPRしていく。	
○徹底したコロナ対策事業と支援【短期】		
○他県よりも「安心」の施策をとっていることのアピール【短期】		
（2）第二波に対応できる新しいビジネスモデルの推進		
○旅館等をWEB会議の会場として提供（ワーケーションの推進含む）【短期】	ワーケーションについては、企業と受入側のマッチング及び受入側宿泊施設のワーケーションスペース等への施設改修を支援した。引き続き、市町とともに大崎圏域全体の施設が活用されるよう誘致に向けて情報発信していく。 また、鳴子温泉街の空き家を利活用し、観光客との新たな交流拠点となるよう「観光地空き家利活用推進モデル業務」を外部委託し、温泉街の活性化に向けて取り組んでいる。	
○旅館等の地域内利用の促進【短期】		
○旅館等の平日利用の推進【短期】		
（3）地域が一体となって取組む観光振興の推進		
○観光気運醸成に係る取組【短期】	SNS（インスタグラム）を活用して各地域の施設やイベント等を情報発信したほか、フォトコンテスト等のキャンペーンを実施し、観光需要の喚起を図った。今後も継続的に取り組んでいく。また、マイクロツーリズムとしてスマートフォン等を活用した「おおさきエリアスイーツ&クイズスタンプラリー」を実施している。	
○教育旅行等向け一元的相談窓口の設置【短期】	教育旅行の受入対応については、関係者を集めた意見交換会を開催したほか、教育旅行受入体制整備に関する研修会等を通じて機運の醸成を図るなど、地域としての連携を高めながら検討している。	
○大規模な会議等の誘致【中長期】	新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえつつ、全国規模の会議開催及び圏域内の既存施設の状況を考慮しながら、検討する。	